

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年10月28日から2020年10月22日までです。
運用方針	<p>成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、成長国の現地通貨建て国債に投資することもあります。</p> <p>成長国とは、新興国および資源国のことをいい、原則として以下の条件を満たす国を指します。</p> <p>新興国：IMFが新興国と定義する国かつ名目GDPが1,000億米ドル以上の国</p> <p>資源国：鉱物資源、エネルギー資源、食糧資源等を産出する国で、その資源がその国の経済成長に寄与すると考えられる国</p> <p>投資にあたっては、経済動向、金利水準および為替動向等を勘案して投資対象国および投資比率を決定します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	成長国通貨建て国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。</p> <p>分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>

運用報告書（全体版）

成長国通貨・ 国際機関債オープン （愛称 世界にエール）

第109期（決算日 2019年11月22日） 第112期（決算日 2020年2月25日）
第110期（決算日 2019年12月23日） 第113期（決算日 2020年3月23日）
第111期（決算日 2020年1月22日） 第114期（決算日 2020年4月22日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「成長国通貨・国際機関債オープン（愛称 世界にエール）」は、2020年4月22日に第114期決算を迎えたので、過去6ヵ月間（第109期～第114期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
85期(2017年11月22日)	6,025	40	△ 3.2	90.3	—	193	
86期(2017年12月22日)	6,118	40	2.2	90.7	—	196	
87期(2018年1月22日)	6,181	40	1.7	90.8	—	198	
88期(2018年2月22日)	5,941	40	△ 3.2	87.8	—	189	
89期(2018年3月22日)	5,798	40	△ 1.7	90.8	—	178	
90期(2018年4月23日)	5,798	40	0.7	91.2	—	178	
91期(2018年5月22日)	5,613	40	△ 2.5	91.1	—	172	
92期(2018年6月22日)	5,392	40	△ 3.2	91.6	—	165	
93期(2018年7月23日)	5,465	40	2.1	89.6	—	167	
94期(2018年8月22日)	5,179	40	△ 4.5	93.0	—	155	
95期(2018年9月25日)	5,189	40	1.0	90.5	—	155	
96期(2018年10月22日)	5,201	40	1.0	83.8	—	155	
97期(2018年11月22日)	5,323	40	3.1	91.2	—	156	
98期(2018年12月25日)	5,130	40	△ 2.9	72.4	—	145	
99期(2019年1月22日)	5,177	40	1.7	88.5	—	145	
100期(2019年2月22日)	5,270	40	2.6	91.6	—	147	
101期(2019年3月22日)	5,222	40	△ 0.2	92.4	—	144	
102期(2019年4月22日)	5,148	40	△ 0.7	89.9	—	141	
103期(2019年5月22日)	4,922	40	△ 3.6	75.1	—	134	
104期(2019年6月24日)	4,901	40	0.4	86.1	—	133	
105期(2019年7月22日)	4,951	40	1.8	91.6	—	129	
106期(2019年8月22日)	4,731	40	△ 3.6	87.6	—	121	
107期(2019年9月24日)	4,815	40	2.6	87.7	—	123	
108期(2019年10月23日)	4,870	40	2.0	88.0	—	125	
109期(2019年11月22日)	4,865	40	0.7	90.5	—	119	
110期(2019年12月23日)	4,901	40	1.6	90.0	—	119	
111期(2020年1月22日)	4,932	40	1.4	92.3	—	120	
112期(2020年2月25日)	4,838	40	△ 1.1	81.9	—	116	
113期(2020年3月23日)	3,999	40	△16.5	90.3	—	95	
114期(2020年4月22日)	3,867	40	△ 2.3	90.6	—	92	

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 当ファンドは成長国通貨建て国際機関債を主要な投資対象としており、パフォーマンスを比較するのに適切な指数がありません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

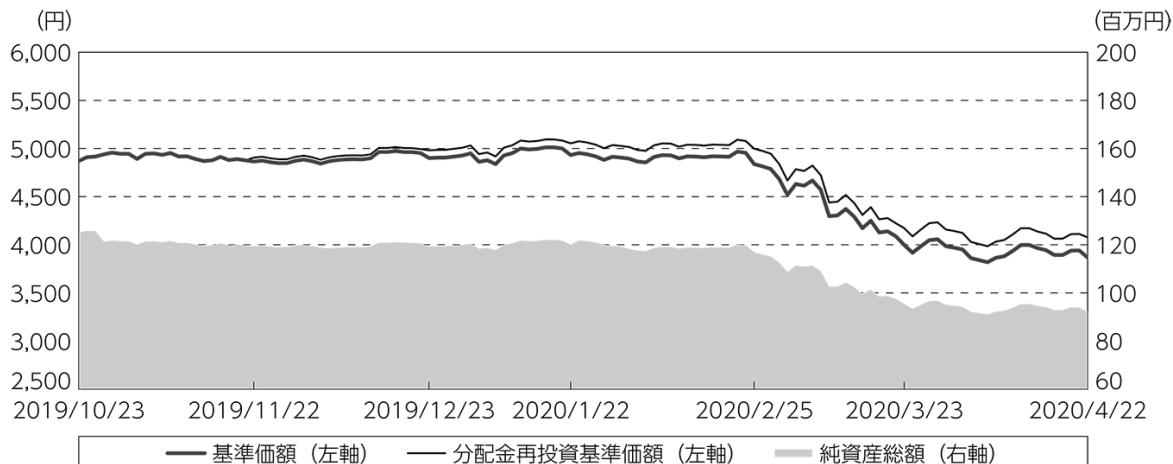
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第109期	(期 首) 2019年10月23日	円 4,870	% —	% —	% 88.0	% —
	10月末	4,945	1.5	—	90.4	—
	(期 末) 2019年11月22日	4,905	0.7	—	90.5	—
第110期	(期 首) 2019年11月22日	4,865	—	—	90.5	—
	11月末	4,873	0.2	—	90.3	—
	(期 末) 2019年12月23日	4,941	1.6	—	90.0	—
第111期	(期 首) 2019年12月23日	4,901	—	—	90.0	—
	12月末	4,950	1.0	—	89.8	—
	(期 末) 2020年1月22日	4,972	1.4	—	92.3	—
第112期	(期 首) 2020年1月22日	4,932	—	—	92.3	—
	1月末	4,895	△ 0.8	—	82.3	—
	(期 末) 2020年2月25日	4,878	△ 1.1	—	81.9	—
第113期	(期 首) 2020年2月25日	4,838	—	—	81.9	—
	2月末	4,685	△ 3.2	—	90.9	—
	(期 末) 2020年3月23日	4,039	△16.5	—	90.3	—
第114期	(期 首) 2020年3月23日	3,999	—	—	90.3	—
	3月末	3,970	△ 0.7	—	90.1	—
	(期 末) 2020年4月22日	3,907	△ 2.3	—	90.6	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2019年10月24日～2020年4月22日）



第109期首： 4,870円

第114期末： 3,867円（既払分配金(税引前)：240円）

騰落率：△ 16.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年10月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラスに寄与しました。
- ・メキシコペソ建て債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・投資対象とした成長国通貨の対円での下落がマイナスに作用しました。
- ・インドネシアルピア建て債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナスに作用しました。

投資環境

(2019年10月24日～2020年4月22日)

投資対象とした成長国通貨建て債券市場は、全般に利回りが低下（債券価格が上昇）しました。作成期初から2020年1月にかけては、概ね安定した推移となりましたが、その後は新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の急落を背景に、新興国からの投資資金の流出懸念が高まり、利回りが上昇（債券価格が下落）しました。しかし、3月下旬以降は、各国中央銀行の金融緩和や主要先進国の長期金利低下を背景に、利回りが低下しました。ただ、インドネシアルピア建ての債券は、同国中央銀行が2020年4月の政策決定会合で大方の市場予想に反して利下げを見送ったこともあり、作成期間を通じて利回りが上昇する動きとなりました。

為替市場は、投資対象とした成長国通貨が対円で下落しました。作成期初から2020年1月にかけては、成長国通貨は全般に底堅い推移となりましたが、その後は新型コロナウイルスの世界中への感染拡大等を受けて、市場参加者のリスク警戒感が急速に強まり、成長国通貨が対円で大幅に下落しました。ただ、世界各国が金融緩和や財政支出拡大によって景気の下支えに動いたこともあり、作成期末にかけては、成長国通貨が対円で下げ幅を縮小する場面も見られました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年10月24日～2020年4月22日)

債券組入比率は市場動向に応じて調整し、作成期末時点では90.6%としました。

新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、オーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6ヵ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債をポートフォリオに組み入れました。通貨配分は、市場環境、各国のファンダメンタルズ、金利水準等を勘案して調整を図りました。当作成期は、ブラジルレアルなどの比率を引き下げるとともに、インドネシアルピアの比率を引き上げました。

外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年10月24日～2020年4月22日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

(2019年10月24日～2020年4月22日)

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間におきましては、分配可能額を勘案し、毎期1万口当たり40円（税引前）、合計で240円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2019年10月24日～ 2019年11月22日	2019年11月23日～ 2019年12月23日	2019年12月24日～ 2020年1月22日	2020年1月23日～ 2020年2月25日	2020年2月26日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 0.815%	40 0.810%	40 0.805%	40 0.820%	40 0.990%	40 1.024%
当期の収益	39	40	39	33	20	24
当期の収益以外	0	—	0	6	19	15
翌期繰越分配対象額	245	248	248	241	222	207

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資対象とする成長国通貨建て債券市場は、全般に利回りの低下傾向（債券価格の上昇傾向）が続くと予想します。金融市場のボラティリティ（変動率）の低下と主要先進国の低金利環境の長期化観測を背景に、成長国通貨建ての債券市場には、利回りを求める投資資金の流入が強まると見込んでいます。

為替市場は、成長国通貨が対円で底堅い推移となることを予想します。世界経済は新型コロナウイルスの感染拡大によって深刻な打撃を受けていますが、足元で経済活動の再開に動く国・地域が現れていることもあり、市場は徐々に将来の景気回復を意識するものと考えられます。このため、今後は市場心理の改善に伴って高金利通貨が愛好されると見込み、成長国通貨が対円で下支えされる展開を想定しています。

このような状況下、保有債券からの利息収入の確保を図りつつ、市場動向に応じて通貨配分を調整する方針です。また、ファンドの運用においては、新興国および資源国の中から、経済動向、金利水準および為替動向を勘案し、引き続きオーストラリア、インドネシア、トルコ、南アフリカ、メキシコ、ブラジルの6カ国を投資対象とし、各国通貨建ての国際機関債に分散投資する方針です。ただし、各国の信用リスク、金利水準、ファンダメンタルズ、および通貨や債券の流動性等を勘案し、状況に応じて投資対象国の追加や変更を検討します。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年10月24日～2020年 4月22日）

項 目	第109期～第114期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(13)	(0.274)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(15)	(0.328)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.027	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	31	0.656	
作成期間中の平均基準価額は、4,719円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

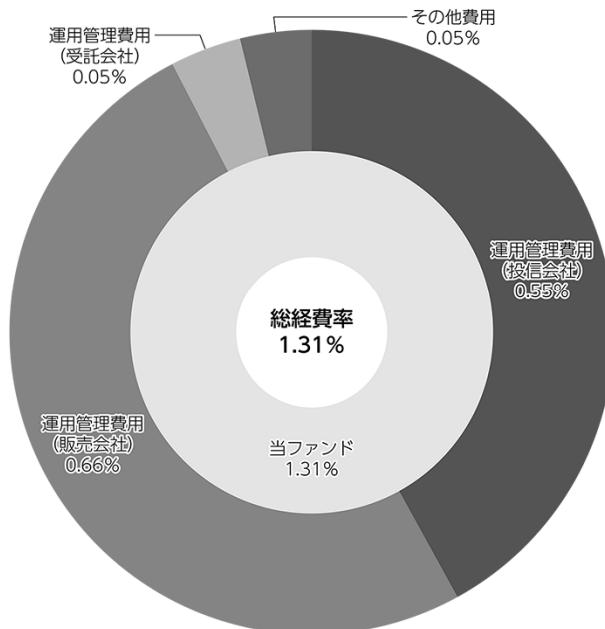
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.31%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月24日～2020年4月22日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

公社債

			第109期～第114期	
			買付額	売付額
外国	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 1,056	千メキシコペソ 2,036
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル -	千ブラジルリアル 326
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 1,253	千トルコリラ 1,023 (500)
	インドネシア	特殊債券	千インドネシアルピア 2,061,740	千インドネシアルピア -
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 2,211	千南アフリカランド 2,660

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月24日～2020年4月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年4月22日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第114期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 4,000	千メキシコペソ 4,194	千円 18,539	% 20.1	% —	% 15.0	% 5.1	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 300	千ブラジルレアル 317	6,448	7.0	—	—	2.4	4.6
トルコ	千トルコリラ 1,000	千トルコリラ 1,146	17,722	19.2	—	—	19.2	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 50	千オーストラリアドル 56	3,859	4.2	—	4.2	—	—
インドネシア	千インドネシアルピア 4,000,000	千インドネシアルピア 3,977,340	27,841	30.2	—	—	—	30.2
南アフリカ	千南アフリカランド 1,500	千南アフリカランド 1,594	9,039	9.8	—	9.8	—	—
合 計	—	—	83,451	90.6	—	29.0	26.8	34.8

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	第114期末		償還年月日	
				評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVT BK 7.75	7.75	1,000	1,070	4,731	2025/1/30
		INTL FIN CORP 7	7.0	1,000	1,024	4,526	2027/7/20
		INTL FIN CORP 7.5	7.5	2,000	2,099	9,281	2028/1/18
小	計					18,539	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
	特殊債券 (除く金融債)	INT BK RECON&DEV 11.75	11.75	200	209	4,240	2020/11/4
		INTL FIN CORP 6.75	6.75	100	108	2,208	2024/8/27
小	計					6,448	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ			
	特殊債券 (除く金融債)	EURO BK RECON&DV 24	24.0	1,000	1,146	17,722	2022/10/5
小	計					17,722	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEV BANK 3.1	3.1	50	56	3,859	2029/6/15
小	計					3,859	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア			
	特殊債券 (除く金融債)	EURO BK RECON&DV 9.25	9.25	2,000,000	1,988,280	13,917	2020/12/2
		EUROPEAN INVT BK 7.4	7.4	2,000,000	1,989,060	13,923	2022/1/24
小	計					27,841	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド			
	特殊債券 (除く金融債)	EUROPEAN INVT BK 8	8.0	1,500	1,594	9,039	2027/5/5
小	計					9,039	
合	計					83,451	

(注) 邦貨換算金額は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年4月22日現在)

項目	第114期末	
	評価額	比率
公社債	千円	%
コール・ローン等、その他	83,451	89.4
投資信託財産総額	9,857	10.6
	93,308	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 作成期間末における外貨建純資産(87,794千円)の投資信託財産総額(93,308千円)に対する比率は94.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=4.42円、1ブラジルレアル=20.28円、1トルコリラ=15.46円、1オーストラリアドル=67.80円、1インドネシアルピア=0.007円、1南アフリカランド=5.67円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2019年11月22日現在	2019年12月23日現在	2020年1月22日現在	2020年2月25日現在	2020年3月23日現在	2020年4月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	120,550,708	120,437,158	121,155,483	124,277,546	96,438,896	93,308,745
コール・ローン等	3,958,240	5,700,868	3,999,957	19,052,013	6,482,829	5,400,964
公社債(評価額)	108,104,463	107,285,849	110,765,624	95,811,312	86,100,396	83,451,523
未収入金	—	—	—	6,180,426	—	—
未収利息	4,913,964	4,206,821	3,964,692	1,867,487	1,726,536	2,151,651
前払費用	3,511,086	3,170,309	2,341,412	1,272,043	2,024,431	2,191,814
その他未収収益	62,955	73,311	83,798	94,265	104,704	112,793
(B) 負債	1,109,308	1,187,548	1,099,864	7,309,332	1,053,717	1,169,833
未払金	—	—	—	6,200,603	—	—
未払収益分配金	982,013	973,335	973,720	966,993	953,985	952,982
未払解約金	59	84,608	—	—	—	118,080
未払信託報酬	125,908	128,260	124,832	140,219	98,623	97,733
未払利息	5	9	1	8	6	5
その他未払費用	1,323	1,336	1,311	1,509	1,103	1,033
(C) 純資産総額(A-B)	119,441,400	119,249,610	120,055,619	116,968,214	95,385,179	92,138,912
元本	245,503,275	243,333,885	243,430,093	241,748,318	238,496,438	238,245,574
次期繰越損益金	△126,061,875	△124,084,275	△123,374,474	△124,780,104	△143,111,259	△146,106,662
(D) 受益権総口数	245,503,275口	243,333,885口	243,430,093口	241,748,318口	238,496,438口	238,245,574口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,865円	4,901円	4,932円	4,838円	3,999円	3,867円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第109期126,061,875円、第110期124,084,275円、第111期123,374,474円、第112期124,780,104円、第113期143,111,259円、第114期146,106,662円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第109期0.4865円、第110期0.4901円、第111期0.4932円、第112期0.4838円、第113期0.3999円、第114期0.3867円です。

(注) 当ファンドの第109期首元本額は256,965,775円、第109～114期中追加設定元本額は3,243,961円、第109～114期中一部解約元本額は21,964,162円です。

○損益の状況

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2019年10月24日～ 2019年11月22日	2019年11月23日～ 2019年12月23日	2019年12月24日～ 2020年1月22日	2020年1月23日～ 2020年2月25日	2020年2月26日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,100,057	1,118,390	1,042,473	966,299	594,813	697,823
受取利息	1,094,029	1,109,620	1,032,156	958,272	585,655	689,916
その他収益金	6,154	8,876	10,484	8,169	9,304	8,001
支払利息	△ 126	△ 106	△ 167	△ 142	△ 146	△ 94
(B) 有価証券売買損益	△ 99,211	847,943	823,542	△ 2,110,915	△ 19,547,346	△ 2,783,353
売買益	1,218,238	2,565,488	1,520,025	936,258	273,946	2,212,495
売買損	△ 1,317,449	△ 1,717,545	△ 696,483	△ 3,047,173	△ 19,821,292	△ 4,995,848
(C) 信託報酬等	△ 129,791	△ 130,512	△ 133,698	△ 146,935	△ 99,734	△ 106,374
(D) 当期損益金(A+B+C)	871,055	1,835,821	1,732,317	△ 1,291,551	△ 19,052,267	△ 2,191,904
(E) 前期繰越損益金	△119,942,687	△118,917,217	△118,052,275	△115,264,815	△115,886,057	△135,518,704
(F) 追加信託差損益金	△ 6,008,230	△ 6,029,544	△ 6,080,796	△ 7,256,745	△ 7,218,950	△ 7,443,072
(配当等相当額)	(5,630,240)	(5,581,116)	(5,583,705)	(5,550,109)	(5,475,695)	(5,307,911)
(売買損益相当額)	(△ 11,638,470)	(△ 11,610,660)	(△ 11,664,501)	(△ 12,806,854)	(△ 12,694,645)	(△ 12,750,983)
(G) 計(D+E+F)	△125,079,862	△123,110,940	△122,400,754	△123,813,111	△142,157,274	△145,153,680
(H) 収益分配金	△ 982,013	△ 973,335	△ 973,720	△ 966,993	△ 953,985	△ 952,982
次期繰越損益金(G+H)	△126,061,875	△124,084,275	△123,374,474	△124,780,104	△143,111,259	△146,106,662
追加信託差損益金	△ 6,008,230	△ 6,029,544	△ 6,080,796	△ 7,256,745	△ 7,381,282	△ 7,804,605
(配当等相当額)	(5,630,240)	(5,581,116)	(5,583,705)	(5,550,109)	(5,313,363)	(4,946,378)
(売買損益相当額)	(△ 11,638,470)	(△ 11,610,660)	(△ 11,664,501)	(△ 12,806,854)	(△ 12,694,645)	(△ 12,750,983)
分配準備積立金	393,003	460,514	454,562	299,921	—	—
繰越損益金	△120,446,648	△118,515,245	△117,748,240	△117,823,280	△135,729,977	△138,302,057

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(a) 配当等収益(費用控除後)	970,266円	1,044,155円	967,776円	819,364円	495,079円	591,449円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	5,630,240円	5,581,116円	5,583,705円	5,550,109円	5,475,695円	5,307,911円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	404,750円	389,694円	460,506円	447,550円	296,574円	0円
分配対象収益(a+b+c+d)	7,005,256円	7,014,965円	7,011,987円	6,817,023円	6,267,348円	5,899,360円
分配対象収益(1万口当たり)	285円	288円	288円	281円	262円	247円
分配金額	982,013円	973,335円	973,720円	966,993円	953,985円	952,982円
分配金額(1万口当たり)	40円	40円	40円	40円	40円	40円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
1 万口当たり分配金（税引前）	40円	40円	40円	40円	40円	40円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店					

<お知らせ>

該当事項はございません。